

# ほまれ

えらじりやぶ



社会福祉法人 日野友愛会

〒529-1634 滋賀県蒲生郡日野町深山口524番地  
TEL.0748-53-0261 FAX.0748-53-0611  
http://www.homare.or.jp

特別養護老人ホーム 誉の松

デイサービスセンター 誉の松

ケアハウス ひの

第82号

2025年春号

## デイサービス

### 竹灯籠の展示にうっとり

竜王町を中心に活動する竹灯籠の愛好グループ「竹工房 川部の郷」の方たちが有志で、施設2階ケアハウスの交流コーナーに作品を展示してくださいました。メンバーの方たちがそれぞれ思いをこめて、丁寧に細やかに彫られた作品はどれも素晴らしく、温かみのある明かりに照らされて、花や動物を美しく浮かび上がらせていました。「なんちゅう細かい作りやろう」と、見学に来る利用者さんたちもとても感心しておられました。



## 医務だより

### ～食事で出来る疲労対策～

新年度が始まり1ヶ月が経過しました。4月から新しい環境で生活するようになった方も多いかと思いますが、そろそろ疲れが溜まっていく時期ではないでしょうか。そこで今回は疲労対策に良い栄養素・食材をご紹介します!!

#### 《ビタミンB1》



ビタミンB1は食事から摂取された糖質からエネルギーを作るサポートしてくれます。不足するとエネルギーがうまく作れず、疲労の原因となってしまいます。  
食品例…豚肉・玄米・まぐろ等

#### 《ビタミンB2》



ビタミンB2は炭水化物。タンパク質・脂質からエネルギーを作り出す際に必要な栄養素です。幅広い食品に含まれていますが、納豆・レバー・卵・チーズ等に多く含まれています。

#### 香り成分「アリシン」で持続力アップ



ビタミンB1は「アリシン」という香り成分と結合すると血液中に長く溜まり効率よく疲労回復の手伝いをしてくれます。  
食品例…にら・にんにく・ねぎ等

#### 《抗酸化作用成分》



疲労感の原因の1つである活性酸素が出来るのを防ぐ働きがあります。抗酸化作用はビタミンA・C・Eやポリフェノールなどにあり、様々な食品に含まれます。  
食品例…にんじん・ほうれん草・ブロッコリー・キウイフルーツ・ナッツ類・かぼちゃ等

## 編集後記

春らしい気候になり過ごしやすい季節となりましたが、体調には気を付けてお過ごしください。

今年度も楽しんでいただけるような広報誌を作りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



## ケアハウス居室の リフォーム工事をしました！

今回、15部屋あるうちの4部屋をリフォームしました。全面可愛らしい壁紙に張り替えをし、畳コーナーを撤去して段差を解消し、ミニキッチン無くして使いやすい洗面台を導入しました。フルフラットになり安全で、明るく居心地の良いお部屋に生まれ変わりました。この4部屋は新しく入居される方のお部屋で、いま住んでおられる方のお部屋もご希望があれば順次リフォームをする予定です。陽当たりの良い快適な空間で楽しく過ごしていただきたいです。

これから暖かくなり、いい季節がやってきました。新しい入居者さんも来てくれたのでみんなで色々な所にお出かけをしたり、楽しいイベントを企画したりしていきたいです。



## 施設事務所も リニューアル！

昨年9月、1階天井内にある給湯管が破裂し、玄関ホール、事務所、リハビリ教室など一面水浸しになる大惨事がおきました。これにより、長らく仮事務所で業務を行ってまいりましたが、このたび無事に改修工事が終わり、新しい事務所に生まれ変わりました。ニューヨークのブルックリン地区のオフィスイメージで、レンガをあしらい、内装はブラックやダークブラウンで統一感を出しました。デスクも新たに新調。来設されるお客様からも、「ずいぶん変わりましたね！」とご評価いただいています。楽しく、効率よく業務を行う新しいスタイルに、みなさまぜひのぞきにいらしてください。



令和7年度 誉の松  
リニューアル

## 特養・ショートステイ すべてのベッドに見守りシステムを設置

### 利用者への安全対策と職場環境改善への取り組み

滋賀県の推進する「介護現場職員職場環境改善支援（介護ロボット導入支援）」を活用し、段階的計画を立て、令和4年度に20台、そして令和6年度に残り50台の見守りシステムを設置することができました。

施設北側に位置する特養（虹）と、ショートステイエリアには、介護支援システム『ライブコネクト』の見守りカメラとバイタルセンサー・離床センサーを導入しています。居室へ行かなくてもリアルタイムで利用者さんの様子をモニターで確認できることが最大のメリットです。ライブコネクトの機能としては離床行動通知・心拍/呼吸異常通知（警告通知）・睡眠情報・高温/低温注意検知など、多機能にわたり、利用者さんの情報・居室内の様子を知らせてくれます。センサーが感知するとモニター上でアラームが鳴りどこの居室で発生しているのか、職員もいち早く気が付くことができ、仕事の効率化が図れています。特に夜間は、職員の人数が減るのでカメラを導入したことで巡視の回数を減らすことができ、職員の身体的・精神的負担を軽減することが期待されます。



施設南側の特養・輝エリアには「アンシエル」という見守りセンサーの設置をしました。この見守りセンサーでは各ベッドに見守り用のカメラが設置している為、スマートフォンやパソコンの画面で利用者様の様子を確認することができます。また、離床時や臥床時、体動時などの通知を設定することで知音や音声にてその利用者様がどのように行動されているのかをすぐに確認することが出来ます。その他にも心拍や呼吸の測

定記録がされており、体調の把握にも繋げることが出来ます。これまでは転倒のリスクが高い方にのみ優先的にセンサーマットの設置をして対応していましたが、日々利用者様への対応をしている中で転倒や転落などのアクシデントを減らしていけるようにと取り組んでいます。まだまだ充分ではない部分もあります。

### 設置後の利便性と課題を考える

今回の全居室への見守りセンサーの設置により、今まではどのような行動をされていたりするのか把握しきれいなかった利用者様の様子もカメラで見ることが出来たりと行動を把握しやすい環境になりました。

使い始めてわかった課題としては、職員によって理解度に差があることです。特に比較的高齢の職員にはスマートフォン等を使用したシステムに馴染みがないため、機能を使いこなすのが難しいとの意見がありました。またWi-Fi環境の不具合により一時的に繋がらなかった場合の復旧対応が難しいようです。



ショートステイ担当  
岡崎

まだ導入後、2か月程ですが、利用者さんの安全を第一に考え、アクシデントが減らせるよう取り組んで参りたいと思います。



特養担当  
岡本

このようなシステムを導入した中で今後も利用者様が過ごしやすい環境を作り、家族様にも安心していただけるよう取り組んでいきたいです。

